

原点に立ち、成長を意識する一年に



明日を想う
健祥会グループ

健祥会だより 2022

KENSHOKAI DAYORI vol.47

第3回 NIKKEI
全国社歌コンテスト
第4位!!

舞踏会 ～健祥会のうた～

人よ友よ

ありがとう

舞踏会 ～健祥会のうた～
動画はコチラから▶





健祥会グループ 理事長 中村 太一

自らの成長を意識しながら 愚直に原点を問い続ける一年に

変化への対応力と しなやかさを力に

2年にわたるコロナ禍の中で、昨年は、安心安全への経験値を高め、状況の許す限りさまざまな活動に取り組んできました。ICT推進、健康経営、女性活躍・子育て支援、コロナ感染対策などが評価され、数々の表彰状や感謝状をいただきました。リモートによる研修や会議もすっかり日常のものとなり、変化への対応力としなやかさを獲得してきたことを実感しています。

いちばん大きなトピックは、グループの総力をあげてコロナワクチンの職域接種に挑んだことです。職員と学生をはじめ、そのご家族や地域の皆様、あわせて1800人もの方に早期に接種していただき、社会のお役に立つことができました。コロナ禍という制約の中で未来へ続く前向きな活動ができたことを嬉しく思っています。

当たり前の 日常を守る

この間、デジタル関連などの一部を除き、さまざまな業種が痛手を受けてきました。医療福祉の世界も然りであり、感染対策に神経をすり減らしつつ、一方で介護サービスの利用控え・医療の受診控えは顕著な状況でした。今また感染が拡大し先の見えない状況ですが、とにかく利用者様を守りするため、ご家族にもご理解ご協力をいただきながら万全を期してまいります。そして、制約の中だからこそ、日々の暮らしの中楽しかった、おもしろかったという喜びを見出していただけよう全職種が心を一つに上質なサービスに努めています。

この先withコロナが続くとしても、いつものデイサービスでなじみの顔に会い、楽しく過ごすことができる、施設に預けて安心して仕事ができる、また、育児のために仕事を諦めることもない、そんな日常を守ることが私たちの責務です。

サービスを利用せず、家で
お世話することになれば、
運動不足でフレイル状態に
陥ったり、介護度が悪化す
ればご家族の負担増に直結
し、介護離職などが引き起
こされます。職を投げ打つ
て介護することになれば、
ご家族が大変なだけでなく、
社会経済の損失でもあ
ります。

私たちの事業は、利用者様
と園児、そのご家族を支え
ることで、経済の下支えを
している、そういう認識を
コロナ禍の中でこれまで以
上に強く持っています。

安心安全の その先に

各地にある私たちの施設
は、地域に溶け込み、人が
集うコミュニティの核と
なっています。同時に、地
域に雇用を生む場でもあり
ます。職環境を整えること
で中山間部の人口増にも寄
与できています。地域経済
の縁の下の力持ちを自ら任
じて、その役割をしつかり
果たしてまいりたいと考え
ています。

コロナ禍により、社会に必
要不可欠なものとしてエッ
センシャルワーカーの仕事
の意義が評価され、介護
士・保育士等の待遇改善も
すすんでいます。その評価
に応えるためにも、安心安
全の先に必要なのは、信頼
のグレードアップとサービ
スの質のレベルアップで
す。そのためにも、私たち
に必要なのは、原点にしつ
かりと掘って立つことに他
なりません。

原点にしつかりと 掘って立つ

原点とは、43年前に掲げ
たグループの会是「福祉
は人 人は心」です。福祉
職である前に人としての
原点、あるべき姿に今一
度立ち還りたい、そんな
気持ちで令和4年訓を定
めました。

掃除がきちんとできてい
るか、気持ちの良い挨拶
ができていないか、礼儀と
感謝を忘れていないか、
そして家族の心でお世話

できているか。自分の親
を任せたい施設か、自分
の子どもを通わせたいこ
ども園か、自分が学びた
い学園か。こうした当た
り前を、365日、職員
一人ひとりが日々本気で
自らに問い、心から職務
に向き合って、上質な
サービスづくりに努めて
まいります。

今、改めて原点回帰を掲
げるということは、裏を
返せば原点から成長でき
ていないということかも
しれません。そのことに
も思いを致し、漫然と1
年を過ごすのでなく、
「成長」を意識しなが
ら、私が率先して職員と
ともに成長を遂げてまい
る決意です。

不変の行動指針と ともに

世の中はどんどん動いてい
ます。変化の動きに遅れな
いよう、むしろ、先んじて
いけるよう、AIなどのテ
クノロジーや科学的デー
タの活用に取り組みつつ、今

後もアンテナを高く張りな
がら、原点は愚直に守り続
ける、そんな令和4年にし
たいと考えます。

未来は予測不能ですが、何
がどう変わろうと、地域の
皆様の安心と安全を守るこ
とが私たちの使命。「サー
ビスの質の追求」「職環境
の充実」「地域社会への
貢献」という不変の行動
指針のもと、明日を想
い、地域に希望を紡いで
まいります。

令和四年訓

大切な人を任せたい
施設、こども園、学園ですか？
原点の問いを365日

明日を想う
健祥会グループ

私たちの仕事は「人のために
する、人にしかできない仕
事」、問われるのは「心」です。
専門職である前に、人として
あるべき当たり前の原点を、
365日、愚直に自らの心に
問う一年にしてほしいとの願
いを込めました。

●7/8(木)

新型コロナウイルスワクチン 職域接種で地域に安心を!

新型コロナウイルスワクチンの早期普及をめざし、全国ですすめられた職域接種。健祥会グループでは、予診・接種・経過観察を担当する医師・看護師がグループ内で十分確保できる上、看護師は高齢者施設での接種で経験済みであり、集団接種にふさわしい体育館があるため、早々に申し込み、ワクチンを確保しました。7月8日から専門学校健祥会学園多目的ホール・健祥会パートナーで、1回目・2回目ともそれぞれ4日間の日程で、学生、職員とその同居家族、地域の皆様、協力業者様など、1800人への早期接種を実現しました。

グループの総力をあげての入念な準備とマンパワーのおかげで、とてもスムーズに敢行でき、職員家族や地域の皆様に喜んでいただけました。3回目追加接種も3月実施予定です。



special topic



医療法人青嵐会 中村晃子 理事長に就任

健祥会グループ常務理事中村晃子が、2021年10月、医療法人青嵐会理事長に就任しました。

医療法人青嵐会は、徳島市国府町に「むくの木クリニック」、美馬市脇町に「介護老人保健施設センターヴィレッジ」を運営するグループ唯一の医療法人です。

これを機に、グループならではの医療介護連携をさらに緊密なものとし、グループ5法人をあげて、上質なサービスで地域に安心を紡いでまいります。どうか青嵐会並びに健祥会グループに、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

CONTENTS

健祥会だより 2022 vol.47

- 2 自らの成長を意識しながら
愚直に原点を問いつける一年に
健祥会グループ 理事長 中村 太一
- 4 2021 KENSHOKAI TOPICS
- 6 新しい時代へ～2021採用レポート
- 7 外国人材は「大事な仲間」
そして「なくてはならない戦力」
- 8 「人」のため「地域」のため
嬉しい評価を励みに
- 10 コロナ下でも怠らない
上質なサービスとたゆまぬ進化こそ私たちの真価
- 12 支え合いつながり合うあたたかな地域でありますように
2021地域活動報告
- 14 KIRARI WOMANネットワーク 2021活動レポート



●4/1(木)

「大きな夢を 大きな優しさを」とくしま健祥会認定こども園へ

幼児期の教育の大切さを訴え、幼稚園に負けない就学前教育を実践してきた健祥会グループの4保育園は、少子化を背景に多様化する地域のニーズにお応えし、順次認定こども園へ移行してきました。2021年4月、とくしま健祥会保育園も「とくしま健祥会認定こども園」へ。4園揃って、幼保連携型認定こども園になりました。保護者の就労を条件とせず、3〜5歳児をお預かりする定員枠に加え、「一時預かり事業」、家庭訪問による相談・支援事業も開始。地域の子育て支援をさらにしっかりと担ってまいります。



水明荘開所40周年 1年遅れの記念式典

特別養護老人ホーム水明荘開所40周年、隣接する吉野川リハビリセンター5周年にあたり、コロナの感染状況に鑑み、延期していた記念行事を、1年遅れで開催しました。ご招待の人数をできるだけ絞り、密を避けて水明荘の前庭で式典を開催しました。

吉野川リハビリセンターのプール開放です。Withコロナ時代の新たなイベントのひとつの姿として、混雑を避けて1ヶ月にわたって実施され、それぞれのご都合に合わせて、楽しんでいただきました。

●4/6(火)

記念行事は、吉野川市内の8つの保育園・認定こども園の園児たちによるおじいちゃんおばあちゃんの似顔絵コンテストと、四国霊場八十八ヶ所第19番札所立江寺様のご協力によるミニ八十八ヶ所お砂踏み、そして



節目を迎える施設続々！地域の皆様ありがとうございます！

社会福祉法人青嵐会青嵐認定こども園の40周年をはじめ、たくさんの方々が節目の年を迎えました。コロナ禍につき、いづれも盛大な記念式典は控え、利用者様・園児と施設職員で大事な節目の日を祝いました。メモリアルDVDを職員が作成するなど、それぞれに先人の労苦を偲び、開設以来長年お支えいただいた地域の皆様への感謝を新たにしました記念日でした。

●9/2(木)

老人保健施設健祥会バーデンで職員寮起工式

美しい山に囲まれたのどかな温泉の街・高松市塩江町の健祥会バーデン。地元の人財はもとよりFPA人財にもますます活躍してもらうために、快適な住まいを確保しようと、高松市の地域医療介護総合確保基金事業補助金の交付を受け、職員寮（健祥会ステーション塩江II/10室）の建設がすすんでいます。地域の皆様の安心につながるよう、人財確保の努力はもちろん、これまで以上に高品質な介護サービスの構



築に努め、地域貢献活動にもしっかりと取り組んでまいります。

●10/1(金)

介護老人保健施設センターヴィレッジで訪問リハビリテーションスタート

通所・通院が難しい方のご自宅を理学療法士や作業療法士などが訪問し、リハビリを提供する訪問リハビリテーション事業が美馬市のセンターヴィレッジでスタートしました。お一人おひとりの「したい！」や「やりたい！」に応えるプログラムで、病气や怪我、加齢によって衰えた身体機能や体力を取り戻し、一人できなくなつた動作の再獲得をめざします。健康・心理、両面から「機能回復」と「社会参加」をしっかりとサポートいたします。



コロナがもたらす変化の先へ
若い力とともに拓く

新しい時代へ

2021採用レポート

39名の大切な人財を迎えて

4/1(木) 入職式

コロナウイルス感染症が収束を
みない中でしたが、入職者本人
にとってもグループにとっても
大事な節目の行事であることか
ら、昨年に引き続き、最善の手
立てを尽くし、対面での入職式
を挙行しました。

この仕事を選んだことに
誇りを持って

健祥会グループ
理事長 中村太一訓辞

Withコロナの続く中、医療・
介護・教育保育という、社会に
不可欠なエッセンシャルワーク
を志し、健祥会グループを選ん
でくださったことに感謝しま
す。社会を支える仕事を選んだ
皆さん自身の選択を誇りに思っ
てください。

グループの中の社会福祉法人健
祥会と緑風会は全国2万余の社
会福祉法人の中で300ほどし
かない特定社会福祉法人とし
て、社会への大きな責任を負う



とともに、地域貢献がより強く
求められています。企業でいえ
ば一部上場を果たしたようなス
テータスであり、それにふさわ
しいモデル的な組織づくりをめ
ざしています。進化と挑戦を続
けるために新しい感覚と発想が
不可欠です。固定概念を打ち砕
き、組織に風を送り込むんだ
という心構えで臨んでくださる
ことを期待します。

私たちが掲げる3つの行動指針
「どこにも負けない施設サービスつ
くり」「どこにも負けない職場環
境づくり」「どこよりも積極的な社
会貢献活動」を達成するために
は、会是のとおり、「心」こそが
重要です。令和3年訓でも「心」
の大事さを謳っています。どうか
「心」をカタチにしていってください
。共に創る「共創」と競い合
う「競争」、前に進む「進化」
と深まる「深化」を念頭に、と
もによりよい健祥会グループを
創っていきましょう。

若い力に期待して

令和4年度 職員採用内定式 11/11(木)

福祉人としての第一歩を記すに
ふさわしい日として、健祥会グ
ループでは11月11日介護の日
が内定式の日。令和4年度採用
内定者26名を迎え、式典が行わ
れました。

3つの行動指針と
3つのお願い

健祥会グループ
常務理事 中村晃子挨拶

少子高齢化という時代背景の上
に、コロナ禍に見舞われ、いの
ちと生活を守る福祉の仕事の役
割はより大きくなり、私たちは
エッセンシャルワーカーとし
て、社会から感謝や尊敬をいた
だいています。コロナ禍で勉学、
就職活動に大変な思いをしなが
ら、福祉の道を選択したことに
自覚と誇りを持ってください。

健祥会グループは40周年を経
て、3つの行動指針を掲げ次の
時代へと歩んでいます。

「サービスの質の追求」につい
ては、ICT化がこの2年の間
に大きく前進し、介護の現場が
様変わりしつつあります。「職
環境の充実」では、職員こそが
組織のたからであるとの思いか
らさまざまな取り組みをすす
め、職場環境や働き方に関する多
くの評価を得ています。「地域
社会への貢献」では、今年度は
ワクチンの職域接種を実施。職
員のみならず、家族や地域の皆

員のみならず、家族や地域の皆



様、1800人という多くの方
に早い時期に接種していただい
たことが大きなトピックでし
た。半年後、皆さんもこの行動
指針に沿って、私たちとともに
頑張ってください。
来春までの間、新聞を毎日最低
一紙読むこと。福祉人に何より
大切な人の気持ちを慮る心。共
感の心を育むこと。経験の幅を
広げること、この3つの実践を
心がけてください。来春、より
バージョンアップした皆さんに
お会いできることを楽しみにし
ています。



Global workplace



待ちに待った人財、来る！
EPA介護福祉士候補者、健祥会グループへ

コロナ禍により大幅にスケジュールが遅れていたインドネシアとフィリピンからのEPA介護福祉士候補者が、2021年6月と10月に入国後研修を終え、健祥会グループにやってきました。6月には16名のインドネシア人がグループ本部入り、1名は大阪府高槻市の榎田の里へ。また10月には11名のフィリピン人がグループ本部へ、1名は榎田の里へ。いずれもPCR検査で陰性を確認し、就労前研修に臨みました。

輩職員が激励に訪れる一幕では、すっかり緊張もほぐれた様子。

研修終了時には、配属施設の担当者を迎えでいよいよ施設入り。施設長から辞令書と記念のタブレット端末と印鑑が手渡され、晴れて健祥会グループの職員になりました。

まずは現場に慣れるよう、そして、国家資格取得をめざして勉強に仕事に頑張れるよう、グループをあげてサポートしています。日本の習慣や地域のことなどもしっかり学んで、施設利用者の皆様、地域の皆様に喜んでいただける人財になってほしいと思います。利用者様、家族様、地域の皆様どうぞよろしくお願いたします。



外国人財は「大事な仲間」 そして「なくてはならない戦力」

グループ2人目の快挙！
EPA人財介護支援専門員誕生

2008年にスタートした、EPA（経済連携協定）による介護人材交流において、健祥会グループではこれまで、インドネシア・フィリピン・ベトナムから人財を受け入れてきました。その多くが介護福祉士国家資格を取得。介護現場のフロアリーダーや管理職者となるものも出て、それぞれにキャリアアップしています。2014年にはEPA人財初の介護支援専門員（ケアマネジャー）も誕生しています。頑張る先輩に習って、香川県高松市の老人保健施設健祥会バーデンのインドネシア人介護福祉士ディッキヨナタ（2012年来日/2015年度介護福祉士国家資格取得/2018年から管理職）が、2021年度の介護支援専門員資格試験にチャレンジ。「利用者様が大好きだから、もっと知識を高めて、より近く

で寄り添い支える存在になりたい」と思い、ケアマネジャーをめざしました」と語るディッキヨナタは、全国の合格率が23・3%という難関を突破し、グループのEPA人財2人目の介護支援専門員となりました。

EPAをはじめ、外国人財は現在グループに208名。それぞれの施設で利用者様に喜ばれ、同僚からも信頼される存在です。ディッキヨナタのケアマネ資格は皆にとって良い刺激となることでしょう。健祥会は、やる気のある人はぐんぐん上をめざせる職場です。外国人財も日本の人財も、目標を高く大きく掲げて、常に挑戦してほしいものです。



「人」のため「地域」のため 嬉しい評価を励みに

4/10(土)

徳島県立男女共同参画総合支援センター
ときわプラザ

徳島県の「男女共同参画立県
とくしまづくり賞」を社会福
祉法人健祥会が受賞しまし
た。バースデー休暇や配偶者
の出産に対する特別休暇、子
育て応援手当、時短やテレ
ワークの導入など、男女の別
なく仕事と家庭の両立をサ
ポートする取り組みの推進
WOMAN ネットワーク



による様々なイベントやセミ
ナーの企画・運営、育児休業
中の職員への情報発信などが
評価されたものです。



健祥会グループでは数年来、組織をあげて、働きやすさ・働きがい・キャリア
形成などをめざして多面的な実践を積んでいます。2021年も、コロナ下と
いう制約の中でしたが、改革の手を緩めることなく取り組みを進め、数々の
受賞・表彰につながりました。その一つひとつを励みに、働く人にも地域に
もさらに胸を張れる職環境づくり、地域づくりに努めてまいります。

人 のために

1/21(木) あわぎんホール

人事部副部長北池桂子を取り
組み発表の場をいただき、
KIRARIWOMAN
ネットワークの活動をはじめ
とした女性活躍支援と子育て
支援、外国人財支援、働きや

子育て支援リーディング企業
表彰」。四国各県から推薦さ
れた4社の中で、社会福祉法
人健祥会が2020年度の最
優秀賞を受賞し、「女性活躍
推進、仕事と育児の両立支援
に向けたシンポジウム」にお
いて表彰されました。

女性活躍・子育て支援 リーディング企業表彰

四国四県の少子化対策担当課
長、四国経済連合会企画調査
部長、四国商工会議所連合会
から構成される四国少子化対
策推進委員会の「女性活躍・
子育て支援リーディング企業
表彰」。



4/26(月)

全国健康保険協会(協会けん
ぽ)の定める「優良健康づく
り事業所」認定において、グ
ループ5法人が揃って優良と
認められ、「金」の認定証が
交付されました。
2018年度以来ずっといた
だいている「金」認定。パー
トも含む全職員の健康診断と
ストレスチェックの実施、健
康指導や重症化の予防、禁煙

「優良健康づくり事業所(金)」認定

対策、メンタルヘルス対策、
運動推進、脱メタバ対策な
どの取り組みが評価されま
した。



11/18(木) 徳島グランヴィリオホテル

各種健診の受診率向上に取
り組み、特定保健指導率・生
活習慣病予防健診ともに
100%を達成●数地内全面
禁煙実施により受動喫煙防止
と禁煙治療の費用助成による
喫煙者の減少●グループ内専
門職(理学療法士・作業療法
士)の知見を活用した腰痛予
防の推進と啓蒙活動●インフ
ルエンザ予防接種を勤務時間
内・全額助成にて実施●ス
ポーツ大会・認知症サポー
ター養成講座・介護無料相談・

従業員や地域住民の健康づく
り活動を積極的にを行い、他の
模範となっている団体・企業
として健祥会グループに徳島
県から贈られました。

令和3年度健康づくり推進活動功労者 「企業部門」徳島県知事表彰

アドプト事業への参加など、
積極的な地域活動の実践……
などが評価されました。



11/9(火) 徳島県庁

「日本赤十字社 金色有功章」「献血功労表彰」受賞
 専門学校健祥会学園が長年にわたり献血運動の推進に協力している団体に贈られる「日本赤十字社 金色有功章」を、老人保健施設健祥会ハート、ケアハウス健祥会プロバンスが徳島県知事感謝状を受けました。健祥会学園は1999年から、健祥会ハート、健祥会プロバンスは2015年から、



「日本赤十字社 金色有功章」「献血功労表彰」受賞

ら、施設に移動献血車を派遣していただき、欠かさず協力していただいております。

2015年度の銀色有功章に続き、2度目、今回は金色の受賞です。この体験を機に学生たちが、社会に出ても高い意識を持ち続けてくれるよう願っています。

4/19(月) 徳島グランヴィリオホテル

2019年10月8日、徳島市国府町の健祥会グループの拠点エリアで実施された、高齢者施設におけるコロナへの対応力向上のための訓練と研修会への協力に対して、徳島県知事より社会福祉法人健祥会に感謝状が贈られました。



新型コロナウイルス 感染症対策功労者として知事より感謝状

1/25(月) ホテルパークウエストン

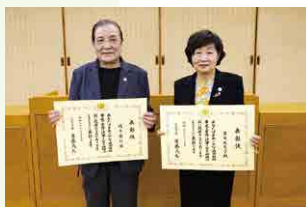
「ICTで徳島を元気に！」
 賛助会員歴5年への感謝状いただく
 課題解決のツールとしてICTを効果的・積極的に活用し、豊かで便利な暮らしと地域づくりをめざして種々の活動を繰り広げる公益社団法人e-とくしま推進財団より、賛助会員歴5年の企業として感謝状をいただきました。
 急速な少子・高齢化、過疎化など、全国に先駆けて様々な地域課題に直面する徳島県では、活力あふれる地域づくりのためにICTのさらなる活用が期待されています。



＼おめでとう! ありがとう! /

12/22(水) 徳島県庁

職員2名が厚生労働大臣表彰受賞
 社会福祉事業の各分野において永年活動し、その功績が特に顕著であると認められる個人や団体に贈られる厚生労働大臣表彰を、社会福祉法人健祥会グループホーム藤吉郎(徳島県板野郡藍住町)管理者藤井都矢子、社会福祉法人緑風会グループホームあめこの里(徳島県那賀郡那賀町)管理者猪本勝代が受賞しました。両名ともに健祥会



職員2名が厚生労働大臣表彰受賞

の創世期からの職員で、創始者の下で今の健祥会グループの礎を築いてくれた人財です。地域と健祥会グループとのパイプ役として、地域貢献にも努めてきています。

＼シニアがいきいき! /

10/28(木) 徳島県JA会館

「シニア世代が働き続けられる職場づくり」
 セミナーで健祥会グループの取り組み紹介
 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構徳島支部と徳島県生涯現役促進地域連携事業推進協議会が主催する「生涯現役いきいきワークシヨップアクティブシニア活用セミナー」において、特別養護老人ホーム笑顔施設長矢野宏行が事例発表の機会をいただき、「シニア世代が働き続けられる職場づくり」と題して、健祥会グループの現状をお話ししました。
 発表では、●健祥会グループ職員の年齢構成が60歳代20%、70歳以上8%にのぼっている現状 ●徳島県のアクティブ・シニア生涯活躍加速化事業により、OJTを経て介護人材確保につながっていること ●シニア人材の採用のメリット ●離職防止・人材定着に向けた取り組みなどを紹介しました。



健祥会グループでは●職員の処遇改善 ●ワークライフバランスの実現 ●女性の活躍促進 ●EPA人材や技能実習生の受け入れと並んでアクティブシニアの雇用をさらに推進してまいります。



コロナ下でも
怠らない
上質なサービスとためまぬ進化こそ
私たちの真価

3/9(火)

**健祥会グループ創立40周年記念大会
「令和2年度 年間取組発表会」 決勝大会開催**

健祥会グループではすべての高齢者施設が統一テーマに沿ってサービス力向上のため

内容も充実
プレゼンテーションも上達

その成果を報告し合う「年間取組発表会」が毎年開催されています。令和2年度のテーマは「サービスの質の向上とメンバーシップ」を原点に立ち返り、今、私たちがやるべきこと」です。

8施設の取り組みは、データ収集や分析の力、独自の視点が光る内容で、プレゼンテーションの上達にも目を見張るものがありました。どれも聞き応えのある発表でした。

8施設のうち、東京、関西を除く6施設の発表者のみが会場入り。聴衆は審査員を含む本部署職員と施設長の中から選任されるステージリーダーに限定し、全施設へはwebでライブ配信されました。仲間からの応援も各施設からの配信で行われました。

5度目の決勝進出にして初優勝を期すふると那賀、2度目の優勝を狙う緑風会イサベールら強豪と並んで、エリザベート成城、吉野川リハビリセンター、健祥会テルダムは初の決勝進出です。

「素晴らしい取り組みばかりで、甲乙付け難かった。コロナ禍の1年の間に、サービスが低下していないかととても心配な思いでしたが、今日の発表を聞いてその不安が払拭された。命の大切さを思い、エッセンシャルワーカーとしての使命を深く胸に刻んだゆえの質の高さだったのでないか。このモチベーションを一過性のものとせず、苦勞して得た成果をデータ化し、価値の共有を図り、グループの知恵として積み上げていってほしい」と理事長より総評の言葉がありました。

令和3年度のテーマは「私たちの働き方☆再発見」です。「きつい」「汚い」「危険」といった3Kから「感謝」「感動」「感激」の新3Kへ。利用者様の笑顔の日常を支えるエッセンシャルワーカーとして、私たちらしい働き方を考え、実践してまいります。

甲乙付け難い質の高さを
理事長も絶賛

●発表の部

最優秀賞

- ・特別養護老人ホーム エリザベート成城

第2位

- ・介護老人保健施設 センターヴィレッジ

第3位

- ・介護老人福祉施設 ふるさと那賀

●ポスターの部

最優秀賞

- ・グループホーム 濃姫

第2位

- ・介護老人福祉施設 ふるさと那賀

第3位

- ・介護老人保健施設 健祥会バーデン&ケアハウス 健祥会リブレ
- ・特別養護老人ホーム 健祥会家康
- ・特別養護老人ホーム 健祥会ライデン
- ・ケアハウス 健祥会リパティ
- ・特別養護老人ホーム 緑風会イサベール



ポスターの部 最優秀賞
グループホーム 濃姫

嬉しいサプライズ!!

発表の合間、スクリーンに、プロ野球2020年日本シリーズで日本一を決めた福岡ソフトバンクホークスの森唯斗投手(徳島県海陽町出身)が突然登場! エッセンシャルワーカーとして日々奮闘する健祥会グループと本大会に激励メッセージとサインボールを贈ってくれました。



講演とワークショップで学ぶ 介護ロボット・ICT機器活用

介護ロボットの開発から普及までの一連の流れを加速するために、厚生労働省の「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム構築事業」により、全国に11箇所の相談窓口と6箇所のリビングラボが設けられ、相談や実証の支援がすすめられています。

徳島県から社会福祉法人健祥会に委託されている徳島県介護実習・普及センターは、厚生労働省の「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム構築事業」の地域拠点として、各種相談への対応、介護ロボットの体験展示・試用貸出、研修会の開催などの役割を担っています。

その一環として、健祥会トウモロホールを会場に、株式会社NTTデータ経営研究所様のご協力により、「介護ロボット・ICT機器活用推進研修会」が開催されました。四国四県の介護事業所・介護施設から、会場受講24名・オンライン受講80名が講演とグループ演習（会場受講者のみ）に参加。介護ロボットに期待されるメリットと効果的な導入・活用へのアプローチ法、施設ごとの課題解決のための機器選定と効果的な活用法について学びました。



高評価もご不満も浮き彫りに！ 26の通所介護・認知症対応型通所介護サービス事業所でニーズ調査

当グループでは、事業所の種別ごとに3年で一巡するニーズ調査を実施しています。2021年度には通所介護・認知症対応型通所介護サービス26事業所において行われました。

●食事●接遇●介護サービスの質●レクリエーションなどの活動●コロナ感染症対策●施設ごとの設問の6項目について、利用者様にアンケートをお願いし、配布総数1593のうち、96.3%もの方に回答をいただくことができました。

この中には感謝のお言葉や激励などもたくさん寄せられました。食事やコロナ感染症対策についても高評価をいただき、職員の励みになっています。

今年も大集合 「にっこりホッと」なエピソード

介護の仕事の喜びは利用者様の笑顔と「ありがとう」の言葉。心と心がつながりあって「にっこり」笑顔が行き交ったり、嬉しくて「ホッと」と心が温まる瞬間、「この仕事を選んだよかった」「あしたも頑張ろう」との思いが胸に満ちてきます。そんな介護の喜びと醍醐味をみんなで共有するために、健祥会グループでは毎年「にっこりホッと推進活動」を行っています。

施設毎に設けられた「にっこりホッとBOX」に現場での心温まる出来事を記した「にっこりホッとカード」が集まりました。「にっこりホッと」なエピソードをいくつか紹介します。

■「昨日のぼうぜ寿司、おいしかった。お母さんを思い出した」という、利用者様の言葉と笑顔に感激！

■合同敬老会の準備の際、先輩方のさりげない声かけや手助けがとても嬉しく、心から「にっこり」。



■ひ孫様からの誕生日の手紙を大切にそうに取り出し、私たち職員に見せてくださった、とてもいい笑顔で！

■利用者様と職員が掲示しているカードを読んでも盛り上がりしている様子に、この活動がよいコミュニケーションツールとなっていると感じ、とても微笑ましく嬉しかったです。

一方で、レクリエーション・行事に対する満足度が総じて低くなっていました。カラオケやイベントなど、コロナ蔓延防止対策のために実施できていないことがいろいろあるためです。また、コロナ禍の影響で設備機材や部品の調達が滞っていることから、環境整備や修繕などに対するご不満も見られました。

こうしたご不満を重く受け止め、各施設で改善委員会を開催し、善処に努め、利用者様・ご家族の満足度向上を図ってまいります。ご協力ありがとうございます。

支え合いつながり合うあたたかな地域でありますように

2021地域活動報告



3/24(水)



コロナ禍での発災を想定し、グループの基幹エリアである徳島市国府地区において、グループ本部ほか7施設合同で、はじめてのコロナ対応型防災訓練を実施しました。地震、火災、津波・河川氾濫に対する通常の避難訓練、一時避難所としての避難者受け入れ訓練、福祉避難所の設営訓練に加え、コロナ対策を徹底検証。健康な人と発熱や体調不良のある人の受け入れ場所の分離、健康チェック、混乱を避けるための誘導と動線の確認などを行うとともに、段ボールやパーティションを活用しながら、一人当たりスペースや通路の確保もシミュレートしました。



コロナ禍での発災を想定し、グループの基幹エリアである徳島市国府地区において、グループ本部ほか7施設合同で、はじめてのコロナ対応型防災訓練を実施しました。地震、火災、津波・河川氾濫に対する通常の避難訓練、一時避難所としての避難者受け入れ訓練、福祉避難所の設営訓練に加え、コロナ対策を徹底検証。健康な人と発熱や体調不良のある人の受け入れ場所の分離、健康チェック、混乱を避けるための誘導と動線の確認などを行うとともに、段ボールやパーティションを活用しながら、一人当たりスペースや通路の確保もシミュレートしました。



2/5(金)

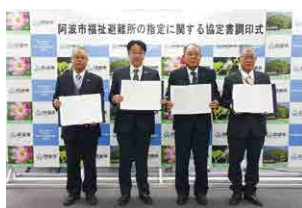


災害時、地域の安心の場所として 阿波市と福祉避難所協定締結

グループホーム義満・デイセンター一休さん、グループホーム加尾・デイセンターお龍が、阿波市との間に福祉避難所の指定に関する協定を締結しました。

福祉避難所は、障がい者、高齢者、妊産婦、病弱者、乳幼児など、一般の避難所での生活に支障をきたし、何らかの特別な配慮を必要とする「要配慮者」を受け入れる施設。これまでに健祥会グループでは、35施設が各地域の行政と協定を交わしており、ここに阿波市の2拠点も加わりました。

健祥会グループでは、毎年の徳島県総合防災訓練で、多くの職員が福祉避難所の設営の実践を経験するとともに、新型コロナウイルス感染症対応の訓練も実施しています。こうしたノウハウを整理し、地域の皆様のお役に立てるよう努めてまいります。



9/13(月)~27(月)



いつまでも健康で いつまでも笑顔で！ グループ全49か所で 合同敬老会

徳島、香川、高知、大阪、京都、東京、全49か所で、合同敬老会が開催されました。本来は、グループ利用者様と地域の皆様が揃ってご長寿をお祝いするものですが、コロナ禍が続く中、去年に続き今年も、ご家族や地域の方、ご来賓の招待は控えることとなりました。

感染対策に細心の注意を払いながら、利用者様に職員が工夫した企画や心づくしのお祝い膳を楽しんでいただくことができました。

健祥会グループの利用者様の総数は5822人、100歳以上の方が104人（徳島県78人／県外26人）。最高齢は107歳。徳島県全体の100歳以上の方は632人（9月1日現在）ですから、8人にお一人が健祥会グループのサービスをご利用くださっており、毎年このことから、感謝とともに責任の重さを痛感する敬老会です。



◀お祝い膳



地域社会の明日のために 徳島トヨペットグループ様と包括連携協定締結

徳島トヨペットグループ様と健祥会グループの間で「包括連携協定」が結ばれ、安心・安全に関すること、交流・活性化に関すること、モビリティに関する事について、両者がそれぞれの資源やノウハウを活かして、協力・連携していくことが約束されました。

特に災害発生時には、電動車などによる給電やバスを利用した一時避難所の提供、携帯電話ステーションの設置、施設間の擁護者の移動や物資の運搬支援、災害車両の引き上げや修理、代替車の貸与など、頼もしい支援が示されています。また、福利厚生として職員に嬉しい購入支援も盛り込まれています。

今後、連携協定の趣旨に沿って取り組み、災害時だけでなく、地域社会がより豊かなものとなるよう実践を重ね、地域連携を強固にしてまいります。



JR四国様より長年の清掃に感謝状 各施設でもアドプト実践

三好郡東みよし町の特別養護老人ホーム健祥会たんぼぼとケアハウス MARIA・テレジアが、2014年から最寄りのJR徳島線江口駅の駅舎と近隣を定期的に清掃していることから、JR四国様より感謝状をいただきました。

施設それぞれに 地域とつながって

健祥会グループは地域貢献を行動指針のひとつとして掲げ、スポーツ大会の主催、文化講演活動、介護講座の開催、まごの手事業、職業体験の受け入れ、地域行事のサポートなどの地域活動を大切にしています。中でも清掃活動は、すべての施

設が日常的に取り組むとともに、本部をはじめ13の施設が徳島県OURoadアドプト事業に参加。さらに徳島市、小松島市、阿南市、阿波市、海陽町各地でも、地域のアドプトプログラムを実践しています。近隣の清掃活動は、登校中の子どもたちに声をかけたり、出勤前のみなさんに労っていたり、出勤前のみなさんに声をかけたり、清掃を通して地域と触れ合う大切なひとときです。



「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」 介護の日、取り組み多彩に

「11月11日」は、介護を他人事ではなく身近なものとして捉え、国民みんながそれぞれの立場で考え関わることのできる社会をめざして定められた「介護の日」。健祥会グループ各施設では万全のコロナ対策を講じた上で、それぞれの施設が工夫をこらしてさまざまな取り組みを実践し、多彩な介護の日となりました。

徳島市の介護・医療・保育相談センター by KENSHOKAI（健祥会ケアプランセンタータクト）では「介護・医療・福祉フェア」を開催。館内のイベント広場で、買い物のお客様に向け、介護・福祉への理解を深めていただけるようアピールしました。VR認知症体験や車いす体験などに、幅広い年齢層の方が積極的に参加してくださり、介護ロボットやGPS付きシューズの展示、さらに血糖値測定や健康測定、相談コーナーなどにも興味を持って足を止めていただきました。



*ゲートボールをはじめとする健祥会グループ主催のスポーツ大会はさまざまなリスクについて検討の結果、皆様の安全最優先で、2021年もすべて中止の決断にいたしました。スポーツは皆様方の生きがいであり、また人とのつながりや社会との関わりを紡ぎ続けるための大切なツールでもあります。来年こそ皆様に笑顔でお会いできるよう、コロナ禍での安心な開催の道を模索してまいります。

2008年に「介護の日」が定められて以来、地域社会における支え合いの輪が広がっています。「介護」への理解促進と啓蒙にさらに努めてまいります。



社会的課題に挑戦! 「Team BRIDGE by KIRARI」始動

さまざまな社会の課題に向き合い、考え、解決に向かって行動を起こす「Team BRIDGE by KIRARI」が始動しました。支援が必要な人と支援機関の橋渡しをするという意味から、BRIDGEと名付けたものです。設定した二つのテーマのうち①が動き始めています。

テーマ①
ヤングケアラーのための
「ほっとコール」

ヤングケアラーを主とした若年層や彼らを取り巻く大人へ、相談できる機関を紹介する活動を実践する

テーマ②
エコバッグ
脱炭素に向けて、グループ内の授産センターへ多様なエコバッグを提案する

ヤングケアラーのあなたに
ひとりじゃないよと
伝えたい!

中学生の5・7%、高校生の4・1%がヤングケアラーであり、相談できる大人が周りにいなかったり、自分がヤングケアラーであることに気づいていないケースも多いと言われています。彼らに、一人ではないことを知ってもらい、どんなことでも相談してもらえるよう、ヤングケアラー「ほっとコール」を創設。グルー

プが受託している徳島県介護実習・普及センター（徳島市国府町/健祥会プレゼンテーション内）のなんでも相談電話がその機能を担う仕組みとし、社会福祉法人徳島県社会福祉協議会と連携して最適な支援機関へ橋渡しします。ヤングケアラーへの呼びかけのチラシやポスターも作成し、いよいよ活動開始。介護実習・普及センターから徳島県内の小・中・高・大学へ送付したり、専門学校健祥会学園の教員が学校訪問の際に持参したり、各地の社会福祉協議会からも呼びかけてもらって周知を図っています。

悩めるヤングケアラーたちに寄り添い、一人でも多くの人にぬくもりや安心を届けられますように。みなさんの周りでも困っている人を見かけたら、ぜひ声をかけてあげてください。



8/12(木)

「もっとリモート阿波踊り」 去年よりパワーアップして皆様に

コロナ禍の中で迎える2度目のお盆。利用者様や地域の皆様に少しでも明るく晴れやかな気持ちになっていただきたいと願い、今年もリモート阿波踊りを企画しました。去年よりさらに感染防止対策を強化し、踊りの収録は一人ずつ、または少人数で行うとともに、企画内容もよりグレードアップ。全13ステージ、47施設から185名の踊る阿呆の熱演を集め、「もっとリモート阿波踊り」と題して、1本の動画に編集しました。職員、学生、園児、たくさんの方が威勢よく踊る姿は、圧巻！8月12日にweb上に公開し、利用者様、園児たち、そして香川、高知、大阪、京都、東京の皆様にも見ていただき、「徳島の粋と元気」を届けることができました。



KIRARI WOMAN

健祥会グループを縦横につなぐ職員のネットワーク「KIRARI WOMAN ネットワーク」が、活動6年目を迎えました。今や WOMAN の枠も超え、新しい取り組みもスタートしています。



第三回NIKKEI全国社歌コンテストに挑戦 「舞踏会 - 健祥会のうた -」第4位に輝く!

「KIRARI WOMAN ネットワーク」内にプロジェクトチームを作り、思いのこもった社歌と会社らしさを表現した動画で日本一を競う日本経済新聞社主催「第3回NIKKEI全国社歌コンテスト」に挑戦。施設の協力を得て、利用者様や園児・学生と職員とのあたたかな日常に一人のご高齢者の人生の思いを重ね合わせ、「舞踏会 - 健祥会のうた -」の動画を作成し、エントリーしました。(出演者全員が利用者様、園児、学生職員です)

エントリー総数142社。ウェブ上での一般審査(11月5日〜19日)の得票上位5社、審査員選出7社の合計12社が決勝へ。「舞踏会 - 健祥会のうた -」も多くの票を得て、社会福祉法人初、四国の企業としても初の決勝進出を果たしました。

決勝戦は、2月10日(木)東京都立川市・立川ステージガーデンで。常務理事中村晃子がプレゼンし、審査の結果、第4位に輝きました。通信カラオケの先駆者である審査員の水谷靖氏から高い評価をいただき、合わせて、水谷靖賞も受賞しました。またすでに「舞踏会」はカラオケ配信されていますが、改めてこの度の動画でJOYSOUNDに配信されることになりました。



受賞にあたって中村晃子は「このコンテストに挑戦すること職員が一致団結できたことは大きな財産です。地域の方へも応援の輪を広げていただき、健祥会グループは多くの人に支えられていると再認識することができました。また、コロナ禍の中で頑張る日本中のエッセンスシャルワーカーにパワーをいただけたような気がします。これからも私たちの心の歌を愛し、歌い続け、すべてのひとの幸せを願い、地域に安心を紡いでまいりたいと思います」と感謝のコメント。各地の施設で配信を見ていた職員たちも大喜びしました。

ネット投票してくださった多くの皆様、社歌動画や応援動画に登場してくださった利用者様、当日の配信を見ながら応援してくださった方々、そして何より、ともにこの社歌を愛し歌う職員に心から感謝します。



「マスク美人・マスクイケメンをめざして!」 KIRARIリモートセミナー開催

12/13(月)

マスク着用の生活が当たり前になり、仕事の上でもビデオ会議やweb会議の機会が増えていることから、表情の見えにくさをカバーし、相手に好印象を与えるメイク術を学びました。

会場とオンライン参加者をつないで行うハイブリッド方式で実施され、会場29名、オンライン39名、合計68名、13名の男性を含む10代から60代までの幅広い年齢層の職員が参加。女性にはメイクレッスン、男性は肌・眉の手入れについて学びました。●マスクを付けた目元の印象が強くなるので、化粧はいつもより薄く、●明るくソフトな仕上がりをめざすなどの留意点をお話しいただきながら、眉の整え方、アイラインの引き方、涙袋の描き方を実演。若く見えるメイク術なども教えていただきました。実演のあとには、盛んに質問も飛び交い、特に男性が熱心に受講してくれたことが嬉しかったです。

まだまだ続くマスク生活ですが、マスクが外せる日が来ることを願いつつ、利用者様や同僚たちに好印象を与えられるよう、そして自分自身の気持ち華やぐよう、メイク上手になりたいものです。



健祥会トウモロホール
講師：株式会社ひかりや 代表取締役 立本陽子さん



きみの未来は 引き受けた

イイね！ヤリガイ！イッパイ！
専門学校 健祥会学園

質の高い教育で、安い学費で、
あなたを一流の専門職に育てます。

学びの質も 学費の安さも
全国トップクラス！

授業料の負担少なく

- 中国・四国で最安 **理学療法学科** **作業療法学科**
- 全国トップクラスの安さ **保育学科**
- 社会人なら学費無料の制度あり **介護福祉学科**

※学園調べ

質の高い教育

- 創立25年の伝統と実績があります。
- 大学並みの整った設備が自慢です。
- 経験豊富な手厚い教師陣、ドクター2名も常勤、万全の国家試験対策。
- 文部科学省「高等教育修学支援新制度」対象校です。
- 4学科とも文部科学省「職業実践専門課程」の認定を受けています。
- 隣接する医療&介護施設が実践的な学びの場となります。

2023年度 入学生募集！

社会人OK！ 年齢問わず！

学び直してあらたな道を開く先輩も大勢います！



社会福祉法人健祥会 専門学校
健祥会学園

お申し込み・お問い合わせ

TEL.088-642-9810(入試事務局)

〒779-3105 徳島市国府町東高輪369番地1



あなたを待ってる人がいる
あなたが輝く場所がある

職員 募集中



笑顔と「ありがとう」の行き交う職場で
私たちといっしょに働きませんか？

誰かのためになる喜びとやりがいに満ちた福祉の仕事にチャレンジしてみませんか？
資格がなくても大丈夫。研修制度でキャリアアップを応援します！
福利厚生も充実。仕事と子育ての両立を力強く支援しています。

介護しながら、子育てしながら、勤められます！

正規職員・パート 勤務地・勤務時間・給与 応談！

募集職種

ケアワーカー(介護職員)・相談員・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師
ケアマネジャー(介護支援専門員)・管理栄養士・調理員・保育教諭・訪問介護員
ケアサポーター(介護助手) ほか

ご興味のある方は下記、または各施設までお気軽にお問合せください。

健祥会グループ本部

TEL.088-642-7522



明日を想う
健祥会グループ

健祥会グループ本部

〒779-3105 徳島市国府町東高輪字天満356番地1

TEL.088-642-8118 FAX.088-642-8668



社会福祉法人 健祥会

社会福祉法人 健祥会

社会福祉法人 健祥会

社会福祉法人 健祥会

社会福祉法人 健祥会